

実践編

DIGはテーマを変えれば、いろいろなイメージトレーニングができます。DIGに応用できそうなテーマを挙げておきますので参考にしてください。また、作成した地図を見ながら実際にまち歩きをしてみると、地域の実情がより理解できます。

DIGはみなさんの知恵とアイデアで、防災活動の幅を広げる有効な手段となるはずです。みなさん、日頃の活動に積極的にDIGを取り入れてみてください。

○DIGに応用できそうなテーマ

- ・災害ボランティア本部の設置、開設を考える
- ・がれきや廃棄物の処理、一時保管場所を考える
- ・災害時の企業の対応を考える
- ・幼稚園、保育園までのお迎えルートと所要時間を考える
- ・要配慮者の避難誘導を考える
- ・福祉施設に一般住民が避難してきた場合の対応を考える
- ・周辺道路の渋滞対策を考える
- ・盗難が多発する可能性が高まるので、防犯対策を考える など

○フィールドワーク（防災まち歩き）

フィールドワークをDIGに取り入れることは、体験の共有と共同作業の実感を高める効果的な手法です。室内で地図に向き合うだけでなく、カメラを持ってまちを歩いてみましょう。DIGのなかで確認した避難所の位置や大きさ、防災倉庫の中身、ブロック塀の位置などを実際に確認し、いろいろな人の声を聴くことにより、さらに具体的な防災対策が浮かんでいきます。

また、DIGでは気づかなかったこと、新たに発見したことを地図に書き加えていきましょう。一層充実した防災マップが完成します。